ストップ・ザ・いじめ
～やめようといじめ　許すないじめ～
いじめ根絶にいがた県民会議
※聖籠町はこの運動に協力しています

社会教育だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori

8月25日から27日までの2泊3日で行われた「わんぱくキャンプ」。聖籠町の小学4年生から6年生までの28名が自然を体験したり、共同生活で助け合ったり、貴重な体験をしてきました。写真は最終日の早朝に行われた地引網の様子です。（関連記事：2～4P）

主な内容

■28名が自然の中で共同生活
わんぱくキャンプ………2～4P
■夏の終わりにシルバーキャンプ
聖山大学…………………… 5P
■町音楽祭11月19日開催
出演者募集………………… 7P
■学校支援地域本部事業
地域教育協議会開催……8～9P

10月

町民会館休館日…………………………3日、11日、17日、24日、31日
トレーニングルーム休館日………………3日、11日、17日、24日、31日
図書館休館日…………………… 3日、10日、11日、17日、24日、31日

町民会館のホームページ　http://www.kaikan.seirou.niigata.jp
メールアドレス　info@kaikan.seirou.niigata.jp

社会教育だよりは、資源保護のため再生紙を使用しています。

▶なれない手つきで火熾（おこ）し。ほとんどの子どもが初体験です。

28名が自然の中で共同生活
辛くても楽しかった「わんぱくキャンプ」

8月25日から27日までの日程で「2011わんぱくキャンプ」が行われました。
このキャンプは、町内3小学校の4年生から6年生を対象としており、2泊3日のテント生活でガスや冷蔵庫もない中、火をおこして食事を作ったり、山登りを通して自然を体験したり、共同生活で必要となる助け合いの大切さを学ぶなど、家庭環境に恵まれた子どもたちが、日頃体験できない生活体験を通して家庭のありがたさを知ってもらおうと実施しています。
今年の参加者は28名で、新潟市越前浜にある県立青少年研修センターの野営場を拠点に野外炊飯・創作活動・角田山登山・地引網などが行われました。
子どもたちが体験した内容を紹介します。

◀プラスチック板を使ったクラフト活動。

8月25日

緊張から笑い声に

朝の出発時は少し緊張していたせいか、表情も硬かった小学生。研修センターに到着し、最初のテント作りの頃には緊張もほぐれて、あちらこちらで笑い声が響く中、みんなで協力する様子が見られました。

クラフト活動
世界でたった一つの作品完成

各自が持参したお昼を食べた後は、クラフト活動です。プラスチック板に思いおもいの絵を描いて、オーブンで熱すると世界でたった一つのオリジナルキーホルダーの出来上がりです。出来上がった作品を自慢げに見せあっている姿が印象的でした。

日程	
8月25日（木）	クラフト
	野外炊飯
	キャンプファイヤー
8月26日（金）	角田山登山
	野外炊飯
8月27日（土）	地引網
	レジャープール

▲キャンプファイヤを囲んで楽しいゲームに夢中です。

野外炊飯
できはともかく賑やかな夕食に

夕食は、各班に分かれてカレーライスを作りました。難関の火熾（おこ）しから始まり、包丁を使っての野菜のきざみ、飯ごう炊飯、カレー調理が行われ、ご飯が焦げてしまったり、カレーがスープカレーになったり、野菜が妙に大きかったり、各班それぞれ違った味わいの夕食が出来上がりました。食事中は「美味しい」、「おかわり」の声が上がり、賑やかで楽しい夕食になりました。

キャンプファイヤー
ゲームであっという間の時間

夕食の後は、キャンプファイヤーです。幻想的な光景を見ながら、各班のリーダー（敬和学園大学の学生さん）が用意したゲームを無邪気に楽しんでいました。

好きな授業、苦手な授業、血液型、誕生月などをテーマにしながら、本当に楽しいゲームが行われ、子どもたちにとってあっという間の時間となりました。

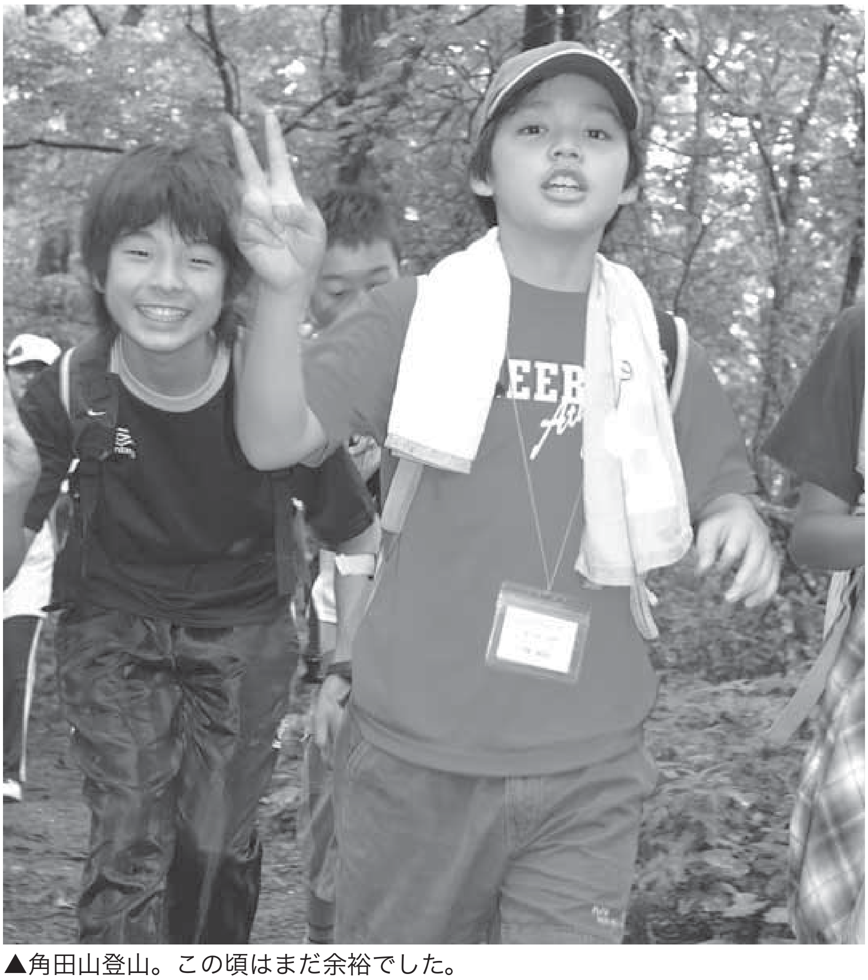
8月26日

角田山登山
朝方の雨も何のその

夜半から朝方にかけてまとまった雨が降った登山当日。スタッフも地元の情報や今後の天気予報などを調べて、より安全なコースに変更して登山を行うこととしました。

雨で足場が悪くなっていて、大人も子どもも滑ったり、転んだり。通常の登山よりも過酷な状況で、もう登れないとか、きついといった声もありましたが、休憩をこまめにとりながら山を登り切りました。

下山後には、みんなでアイスクリームを食べながら、登山を終えた達成感と安堵感で、どの顔もとても嬉しそうでした。


▲角田山登山。この頃はまだ余裕でした。

野外炊飯
賑やかにやきそばパーティー

二日目の夕食は、2班一組でやきそば作りです。火熾（おこ）しから、野菜のきざみ、調理まで、前日に比べて、それぞれの分担も決めて手際もよく、みんなで助け合っている姿が印象的でした。食事中は前日と同様に

「美味しい」、「おかわり」の声が上がり、より一層賑やかで楽しい夕食になりました。
　少しずつ子ども同士の距離が近くなっていくのが手に取るように分かります。

8月27日

地引網
コノシロの唐揚美味しかったよ

　最終日は、４時30分に起床。準備をして早速海岸へ。地元の漁師さんが仕掛けた網をみんなで力を合わせて引くこと40分。80センチ級のスズキをはじめコノシロやエイ、フグなど様々な魚が３箱分獲れました。獲った魚は、すぐ近くの浜茶屋で唐揚げにしてもらいました。みんなで力を合わせて獲った新鮮な魚。特にコノシロは骨までカラっとして本当に美味しかったです。

▲コノシロの美味しさに自然にみんな笑顔です。

疲れているはずなのに
レジャープールで全快

　最終日で疲れもピークに達してると思いきや、レジャープールについたとたん、疲れも吹っ飛んだのか元気全快でプールにザブーン。ウオータースライダーを何度も滑ったり、水泳の競争をしたり、追いかけっこをしたり、あっと言う間の２時間でした。
　さすがに帰りのバスの中は静まり返っていました。

楽しい思い出になった３日間
来年も参加したいです

　わんぱくキャンプ終了後、参加した子どもたち28名全員から感想文を書いてもらいました。「炊飯の火おこしが大変だった」、「ご飯が焦げて食べられなかった」、「山登りは大変だったけど楽しかった」、「山登りの後のアイスがすごく美味しかった」、「テントの中でのおしゃべりが楽しかった」、「地引き網は疲れた」、「プールで鬼ごっこ、もっと遊びたかった」など多くの感想が寄せられました。そして、みんなの感想文の終わりには、「楽しい思い出になった」、「来年も参加したい」という感想が大半でした。
　たった３日間でしたが、参加した子どもたちにとっては、自然を体験しながら少しだけ大人になって、友だちがいっぱいできて、共同生活で助け合うことの大切さ、家庭のありがたさを知ったわんぱくキャンプになったと思います。

▲角田山山頂にて集合写真。子ども達はまだまだ元気です。

聖山大学

夏の終わりにシルバーキャンプ

夏の暑さも落ち着いた8月31日㈬・9月1日㈭に新潟県少年自然の家（胎内市）でキャンプを行いました。

　到着後すぐに夕食のカレー作りの準備。食材を用意する人、火をおこす人、何も言わなくても役割分担ができ、アッと言う間にカレーが出来上がりました。

　みなさんと自然の中で食べるカレーは普段食べるカレーと違う、格別な味がしました。

　夜はキャンプファイヤーの炎を囲み、語りあい、踊ったりと宴に酔いしれました。心配していた雨も降らず、無事1日を終えることができました。

　2日目は雨だったので室内で、キャンプの思い出に壁飾りを作りました。それぞれの思いが詰まった作品ができました。

　普段の生活から少し離れ自然の中で過ごした1日は夏のいい思い出になりました。

グラウンドゴルフで熱戦 さわやかな汗を流しました

【蓮野地区スポーツ交流事業】

　蓮野地区スポーツ交流事業のグラウンドゴルフ大会が9月4日（日）、蓮野小学校グラウンドを会場に行われました。園児からおじいちゃん、おばあちゃんまでの異世代の総勢21名が熱戦を繰り広げ、さわやかな汗を流していました。

　それぞれの部門での優勝者は次のとおりです。

園児～小学校1年生の部　**福田　洸聖さん**

小学校2・3年生の部　**佐藤　美希さん**

一般の部　**横山サクノさん**

聖籠町町民会館
子ども週末事業

ゆっくり たのしく
みんなで遊ぼう

2011年　週末体験（しゅうまつたいけん）クラブ
夏の日の思い出ひまわり

夏の思い出、秋の空

「暑い、暑い」と思っていたら、もう秋になってしまいました。

この夏、週末体験クラブに参加した子ども達も、それぞれの夏の思い出を心のページにたくさん書き込んだことと思います。

いつか大人になって子ども時代を振り返った時に、なつかしさと共に、「できることなら、もどりたいな～」と思うことでしょう。でも、それでは無理なこと、そして、「今」という瞬間の大事さに気付いてくれればいいと願いますが、そんな気持ちを忘れては、又は思い出し、誰もが皆、大人になっていくのでしょうね。

週末体験クラブ　10月の予定です

- **10/1(土)** 遊びは自分で考えよう　●町民会館柔剣道場　※内容変更しました
- **10/8(土)** 砂のファンタジア　●亀代地区公民館
- **10/10(月)** スポレク祭にチャレンジ　●町民会館
- **10/15(土)** イモがあれば年の差なんて～収穫編～　●イモ畑集合
- **10/22(土)** 見てたのしい食べておいしいばばばあちゃんのむしパンつくり　●亀代地区公民館　「募集定員15人」

●各事業参加無料です ▲全会場実施時間9:30～11:30 ■お問合せ/町民会館27-2121松井・高松

第21回聖籠町音楽祭
ご来場お待ちしています

町内中学生、町音楽関係団体などが、日頃の成果を発表する町音楽祭!! 入場は無料です。多数のご来場をお待ちしております。

【とき】11月19日(土)
午後1時30分~
午後4時00分(予定)
【ところ】聖籠町文化会館
【内　容】合唱、楽器演奏、その他
【入場料】無料　先着500名まで
【主　催】聖籠町教育委員会

みなさんも音楽祭に
参加してみませんか？

出演者募集!!

【出場資格】町内に在住または在勤の方
【申込方法】町民会館窓口で申込用紙に記入して、提出してください。
【申込期限】10月14日(金)まで
※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。(楽器編成によっては出演をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

町民ホームベースから
みらいのたね

梅干しを本漬け 聖中フェスで販売予定

7月22日(金)みらいのたねジュニアのメンバーとどんぐりたいで、「梅干しの本漬け」を行いました。
地域の方にご指導いただき、子ども達は真剣な表情で梅を漬け込んでいました。
作業の後は、どんぐりたいが作ったカレーライスをみんなで食べました。このカレーには、ジュニアが育てた野菜も入っており、自分達の野菜に舌鼓を打っていました。

出来上がった梅干しは、10月29日(土)に行われる「聖中フェスティバル」で販売予定です。今年もどうぞお楽しみに!!

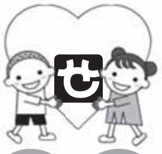
ふるさとの森 ちょっとすっきり

8月28日(日)、ふるさとの森の散髪(草取り・枝切り)が行われました。
植栽から10年経ち、大きく育った木々。散髪でちょっとすっきりしました。

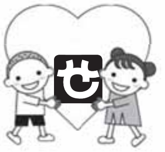
その後、地域の方々のご協力を得て、生徒達より豚汁がふるまわれました。
生徒達が育てたジャガイモがたくさん入っていて、「すごくおいしい!」と大好評でした。

熱戦が繰り広げられました 聖中祭

9月3日(土)、聖中祭(体育祭)が行われました。
「黒」「赤」「黄」「緑」「青」の5つの軍に分かれ、夏休み返上で、応援練習やパネル作成に取り組んでいました。
当日は、台風の影響で風が強く、気温も上がり、厳しいコンディションでしたが、各軍とも一致団結して、すばらしい熱戦が繰り広げられました。



学校支援地域本部事業



ひろがるふれあいみつけるよろこび

地域教育協議会開催

去る7月29日（金）町民会館において、各学校の代表者、町内の各団体代表者（委員）のみなさんからご出席をいただき地域教育協議会が開かれました。

平成23年度の地域教育協議会の役員名簿は以下のとおりです。

氏名（敬称略）	所属・役職	氏名（敬称略）	所属・役職
伊藤　順治	教育長・本部長	藤間　　殖	聖籠町青少年健全育成町民会議会長
飯田　一雄	聖籠中学校ＰＴＡ会長	伊藤　幸成	みらいのたね代表
小川　浩司	蓮野小学校ＰＴＡ会長	高橋　静子	聖籠町社会福祉協議会
齋藤　　剛	山倉小学校ＰＴＡ会長	浮須　　剛	聖籠町商工会青年部代表
高松　孝弘	亀代小学校ＰＴＡ会長	新保　利文	学校支援地域本部コーディネーター
佐藤　政志	聖籠中学校校長	渡邉　　彩	学校支援地域本部コーディネーター
石塚　　崇	蓮野小学校教頭	阿部　誠衛	学校支援地域本部コーディネーター
茂呂　良彦	山倉小学校教頭	大倉　幸子	学校支援地域本部コーディネーター
芋川　裕之	亀代小学校教頭	堀　　富雄	社会教育課　課長
市川　勝榮	聖籠町民生委員･児童委員協議会会長	近藤　隆義	社会教育課　参事
高橋　孝一	聖籠町老人クラブ連合会会長	肥田野弘美	社会教育課　係長
中村　正友	特定非営利活動法人 スポネットせいろう事務局長	松井　智子	社会教育課　主任

今後共、学校支援地域本部スタッフ一同、地域の方の声を大切にしながら、みなさんから興味をもってもらえるような、リアリティーのある事業を目指して努力していきます。

一層のご理解とご協力をお願いします。

●●●サポーター募集のお知らせ●●●

学校・保護者・地域が三者一体で社会の宝である、こども達をみんなで育み、「少しでも子どもの未来に灯を」そんな気持ちで参加をお願いできれば大変ありがたいと思います。子どもサポーターの募集（受付）は結いハート・町民会館・町内各小学校・中学校で行っています。幅広い町民の方々の参加をお願い致します。

地域教育協議会（7月29日開催）では、各学校代表から学校支援地域本部事業の活動に伴い、教育活動全般に渡ってどのように影響してきているかについて話していただき、各団体代表からは、今後地域として子ども達にどんな支援ができるのかについて意見を述べていただきました。

（協議会の様子）

（学校代表より意見…）

・今年度よりコーディネーターが学校配置になったことで、相談できる機会が格段多くなった。

・本部より情報提供があると先生方に周知できるので是非お願いしたい。

（各団体代表より意見…）

・参加団体との連携を密にしながら取り組めばより効果的になるのではないか。

（ＰＴＡ会長より…）

・他校の事または、子ども達と接するよい機会であり、是非サポーターとして活動に参加し協力したい。

●●●地域のみなさんへのお知らせ●●●

平成23年4月より、学校支援地域本部事務所が、結いハート聖籠事務所内に開設されました。お互いの意見が反映され、心と心が通じ合う地域本部を目指したいと考えています。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

地域の皆様の声を大切に事業運営に取り組んで参りますので、是非お気軽にご意見をお寄せください。

問い合わせ：聖籠町学校支援地域本部
（結いハート聖籠事務所内）
☎32－5818
FAX 32－5819
地域コーディネーター：新保利文 ・ 阿部誠衛 ・ 渡邉　彩 ・ 大倉幸子

聖籠町バレエ教室から リノリウムをいただきました

毎週金曜日の夜、結いハート聖籠で練習に励んでいる聖籠町バレエ教室からこの度、リノリウム（クラシックバレエ用平板）を寄贈していただきました。

聖籠町バレエ教室は昭和56年の誕生から今年で30周年。8月21日（日）には町文化会館にて記念発表会が開催されました。10年に一度の発表会というなかで出演者の方々は練習を積み重ねて技術へと昇華させた演技を披露していました。

リノリウムは、バレエの普及振興のため多くの方にお使いいただきたい、と承っています。ご希望の方は町民会館までお問い合わせください。

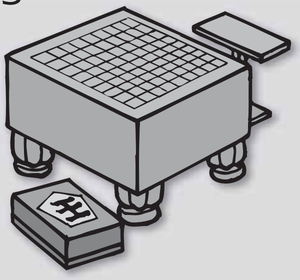
聖籠町バレエ教室の皆様、本当に有難うございました。

リノリウムを敷いた舞台
今回御寄贈いただいたのは91cm×10mを19本

参加者募集 第2回 聖籠町親善将棋大会

昨年に引き続き「聖籠町親善将棋大会」第2回目を開催いたします。
初心者、有段者、小・中学生…どなたでも参加OKです。

と　き	10月16日（日）　受付　8:45～9:20　大会　9:45から
ところ	町民会館「和室」
組合せ	Aクラス、Bクラス
参加費	1,000円（昼食・参加賞込み）
各　賞	各クラス1位～3位…豪華景品　その他…敢闘賞
対戦方法	両どなり計6名との勝敗
主　催	聖籠町将棋同好会
後　援	聖籠町教育委員会



≪お問い合わせ≫聖籠町将棋同好会　会長　長山　忍　☎27－8535

「炎の会展（第9回）と中西和男作品展」

日時　10月14日（金）～16日（日）
時間　午前10時～午後4時
会場　蓮のギャラリー（聖籠町大字蓮野1943―12蓮野多目的運動場となり）

お問い合わせ…炎の会 代表 松田まで ☎27―8582

山倉地区スポーツ交流事業連絡協議会
大峰山トレッキング参加者募集

～山頂で豚汁を食べましょう～

とき　11月13日（日）
午前8時30分　受付開始（町民会館）
午前9時00分　出発
募集人数　50名（定員になり次第締切）
参加費　1人200円（当日徴収します）
締切　11月11日（金）まで
お申込み　町民会館窓口まで
電話での申し込みも可能です

山倉小学校区以外の方も大歓迎です！
是非ご参加ください！

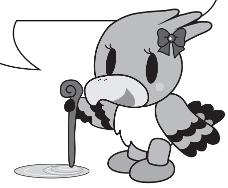
お問い合わせ
聖籠町町民会館　☎27―2121
スポーツ振興係まで

はなちゃんと読む

続 聖籠昔ばなし

最終回

いよいよシリーズ最後となりました。おしまいに「山王権現のお授け井戸」をご紹介します。
次第浜山王森の日枝神社にかつてあった不思議な井戸のお話です。昭和六年ころの記録に基づいて、約三十年前に書かれました。当時は井戸の痕跡があったそうです。



当神社境内地表参道社前に一老杉あり、その枝下南方に現コンクリート製の小井戸があるが、これは当神社お授けと称されるもので、その湧出する水をもって、願主の意によって使用するときは、霊験効能の著しい事は今に衆人の認めるところである。

そもそも、この井戸は明治二十四年の掘削に始まったのであるが、ある人、当時眼病を患い平癒祈願のため、当神社に参籠し、たまたま底地に清水の湧き出ているのを見つけ、その水で眼を洗い一層の祈願をしたところ、遂に霊験現れたため、衆人にこれを知らせ相謀って粗製の井戸を掘ったのがその謂われである。それ以来幾十年間にわたり、この存在は近郷一般は勿論、遠く北海の地にも広まったのである。※1

お授け井戸の痕跡

（『聖籠町誌』増補版より）

大正十三年に氏子相はかり、神殿社守として高橋源太郎という者をここに置き、前記の井戸水を用いた温泉場を設けたのである。

しかしながら、営利を目的としたものではなく、当社参拝にあたり心身の洗浄場とし、希望者の喜捨によって経営してきたものであるが、本湯を一度浴びた者は、その効能をよく知り、年おうて栄えたのである。

砂地から湧水？

聖籠町では砂丘（海岸砂丘）を多く見ることができます。砂丘とは、砂が風や水によって運ばれ、堆積してできた砂の山を指します。砂の山なんて乾燥していそうなのに水が湧き出るなんて、と思いませんか？

ところが！砂丘や扇状地には、地下水が豊富にあることが多いのです。こうした土地の砂や土は粒が大きく、雨水が簡単に滲み込んでしまいます。地表が植物などで覆われていれば、裸地より水分の蒸発が少ないので、地下水として溜まりやすくなります。いったん地下に入った水は砂礫に濾過され、再び出てくるときにはきれいな水となります。

次第浜に連なる砂丘周辺には、山王権現のお授け井戸をはじめ、宮瀬の琵琶清水など、名水と呼ばれる清水がたくさんありました。なかには乙の独鈷水のように現在も湧き出している清水もあります。

伝説一つをとっても、地理・地質・歴史・民俗など色々な角度から地域を考える足がかりになって、興味は尽きないものですね。

※1　藤塚浜や次第浜など、浜に住む人々が多く北海道に移住したために広まったと思われる。

出典：聖籠町（1978）『聖籠町誌』増補版
参考：聖籠町（2007）『聖籠町史』／高田寅雄（2003）『ふるさとアヨロ』上
中条町史編さん委員会編（1992）『中条町史』資料編5、民俗・文化財／新潟日報事業社（2000）『新潟の名水』／日本砂丘学会（2000）『世紀を拓く砂丘研究―砂丘から世界の沙漠へ―』農林統計協会

今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品（平成二十三年八月）を紹介します。

良寛の里を尋ねて小旅行肩肘張らぬ生き方習う　秋山美喜雄

母恋ひし佐渡を見つめる良寛の海は静かな梅雨明け十日　岩橋俊三

曲がりたる腰を伸ばして竿に干す敷布ぱりっと乾き上がりぬ　小野ハナ

結びたき事など無けれど夕凪の橋を渡れば果てしなく海　小野眞智子

民謡の師なりし姉の柩にはまっさらな衣装も入れて別れむ　駒田文雄

大地震が人の心を寄り添わす多くの命奪われし後　小林幸

ふたたびの良寛像にまみえたり変らぬ慈愛深きまなざし　近藤アキ

幾十年を重ねて来しか我が人生盆と節句に季節を想ふ　近藤トイ

一番の大きスイカの切り身とり曾爺にあげる孫の優しさ　斎藤経子

母を恋ひ佐渡を見詰める良寛像穏やかに座す海は凪ぎなり　渋谷カツ子

二万余の命呑みたる大津波うみ深々と盆月となる　丹呉ヤエ

大陸を十時間かけ飛び行きて健やかに待つ息子に安堵する　平野増江

われ萎えて鉢木の移動叶わざる花は火傷しやや枯れゆく　豊島雪江

我が畑の捥ぎたての茄子は朝食に人生初の旨き味なり　星尾美枝子

独り居のおそき昼餉に茄子漬けの色鮮やかに食むをためらふ　本田ヨセ

おひさまの朝のドラマでよみがえる終戦の年我は十六歳　吉田エト

なつ蝶の行く手迷わすもどり梅雨さまようように止り木さがす　渡辺ルリ子

争えば負けん気になる我なるに夕べかなかなの声に涙す　渡辺久仁子

放物線描きてゴール決めたるは小さき「なでしこ」異国に咲けり　講師　阿部昌彦

今月の俳壇

※詠草聖籠俳壇の作品を紹介します。

～平成二十三年八月の句会～

炎天下眼を庇ふサングラス　渡辺テツ子

南部鉄風鈴の音すすり泣く　豊島雪江

半夏生今年の作に恵みあれ　斎藤鉄信

干物を慌て取り込む夏時雨　清水一雄

天仰ぎ雨待つ日々に朝の虹　宮下悦子

晴れやかに夜空にうかぶ天の川　早津れい

汗流し庭木の手入盆を待つ　八幡竹村

空青く白雲浮かび梅を干す　石澤敏子

風鈴を奏でる風の通り道　天尾壮一郎

穂ばらみを見て豊作を占なへり　小林緑風

生涯は明日かも知れぬ蝉時雨　高橋秋荷

噴水の穂先を離れ虹えがく　松木由紀

炎天や木陰に友とうさ話　篠原キミヱ

一杯の茶に安らげり夏座敷　渡辺ルリ子

国道を眺めて走る稲の出来　曽根トク

風鈴の音のみ聞こゆ留守の家　本田ヨセ

枝豆に詮なきことの独り言　諏訪明子

稲作り八分の作で恵比須顔　幾野重作

震災に残りし一樹雲の峰　長谷川節子

10月　生涯学習・スポーツイベント情報

日	曜	生涯学習施設	スポーツ施設
10/1	土	（週末体験クラブ）遊びは自分で考えよう	㋜できるDays、健康づくり教室
2	日		㋜硬式野球教室、聖籠親善ソフトバレー大会
3	月	休館日	
4	火	夜間図書館（夜8時まで）	㋜エアロビクス、藤寄あそび場、健康づくり教室
5	水	移動図書館車（蓮小）	㋜太極拳、亀代あそび場
6	木	移動図書館車（山小）	㋜ピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)
7	金	移動図書館車（亀小）	㋜ヨガ(昼)、ピラティス(夜)
8	土	（週末体験クラブ）砂でつくろうファンタジア 移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）、紙しばい会	㋜フリースポーツ、できるDays、健康づくり教室
9	日		㋜硬式野球教室
10	月	（週末体験クラブ）スポレク祭にチャレンジ、図書館休館日	2011せいろうまちスポレク祭
11	火	休館日	
12	水		㋜太極拳、亀代あそび場
13	木		㋜ピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)
14	金		㋜ヨガ(昼)、ピラティス(夜)
15	土	（週末体験クラブ）イモがあれば年の差なんて～収穫編	第24回新潟県スポーツフェスティバル下越新潟地区「年齢別ソフトテニス」大会 ㋜できるDays、健康づくり教室 連盟杯中学生新人バスケットボール大会
16	日		㋜硬式野球教室 町スポーツ少年団新人野球大会 連盟杯中学生新人バスケットボール大会
17	月	休館日	
18	火	夜間図書館（夜8時まで）	㋜エアロビクス、藤寄あそび場、健康づくり教室 秋季ゲートボール大会
19	水	移動図書館車（蓮小）	㋜太極拳、亀代あそび場
20	木	移動図書館車（山小）	㋜ピラティス(昼)、ヨガ(夜)
21	金	移動図書館車（亀小）	㋜ヨガ(昼)、ピラティス(夜)
22	土	一青　窈コンサート（文化会館） （週末体験クラブ）ばばばあちゃんの蒸しパン 移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）	㋜はまなす杯中学校女子ソフトテニス大会 ㋜できるDays、健康づくり教室
23	日		聖籠親善バレーボール大会 ㋜硬式野球教室
24	月	休館日	休館日
25	火	ぐるんぱの部屋（図書館）、夜間図書館（夜8時まで）	㋜エアロビクス、藤寄あそび場、健康づくり教室
26	水		㋜太極拳、亀代あそび場
27	木	雑誌リサイクルフェア（図書館）	㋜ピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)
28	金		㋜ヨガ(昼)、ピラティス(夜)
29	土	わくわく！雑誌ふろくプレゼント（図書館11／9（水）まで）	㋜できるDays、健康づくり教室
30	日		新発田地域学童野球大会
31	月	休館日	

※　上記予定は、変更する場合があります。詳しくは、町民会館またはスポネットせいろうへお問い合せください。
（問合せ先は、いずれも☎0254－27－2121までお願いいたします。）　※㋜は、「ＮＰＯ法人　スポネットせいろう」の略。

編集の窓から

8月25日からの2泊3日、聖籠町の小学生が参加するわんぱくキャンプに同行した。自然に触れながら友だちどうし助け合い、寝食を共にする。最初は緊張ぎみの子たちもすぐに打ち解けて談笑したり、走り回ったり、賑やかな光景に変化する。そんな中、一人の男の子が「福島の子も一緒だといいのに」と友だちに話しかけた。避難者を町民みんなで受け入れてきた聖籠町にとって、町の子どもからのこんな嬉しい言葉はない。▼町に避難していた被災者のほとんどが福島に帰った。ただ、子どもたちが太陽の下で思いっきり遊べる状況ではない。それがいつになるか先も見えない。親が放射線測定器を持って汗をかく姿が連日のように報じられる。一刻も早く親子が安心して暮らせるよう聖籠町の子どもたちと一緒に祈りたい。▼9月2日に発足した野田新内閣。代表選で故相田みつをさんの詩を引用して、自分をどじょうに例え「泥臭く国民のために汗をかいて、政治を前進させる」と訴えた。被災者のみならず、国民の多くも今度こそはと被災地の復興に期待したことだろう。▼相田さんの詩の一つに被災者の現状を捉えた詩がある『アノネ 時は金なりなんていうけれどね 時はいのちだよ「いま」というこの時は自分の一生の中の一しゅんだから』。復興の遅れは、被災者の命を削ることだということを忘れてほしくない。（高橋）

せいろう 社会教育だより
SEIRO Syakai-Kyouiku-dayori
2011年10月号 毎月1日発行 No.329

第65回 読書週間 信じよう、本の力

図書館をもっと身近に暮らしのなかに取り入れてみましょう。町立図書館では、秋の読書週間のイベントを開催します。ぜひご来館ください。

雑誌リサイクルフェア

★日　時　平成23年10月27日（木）午前9時（開館）
★場　所　聖籠町立図書館　閲覧室
★対　象　保存期限の過ぎた雑誌・逐次刊行物等を無料でお譲りします。1人5冊。図書利用券と一緒にカウンターへお持ちください。

わくわく！雑誌のふろくプレゼント

★日　時　平成23年10月29日（土）～平成23年11月9日（水）
★場　所　聖籠町立図書館　カウンター
★対　象　聖籠町に在住・在勤（学生含む）の方で本や雑誌を5冊以上借りてくださった方にお1人1つプレゼント。
※福袋になっています。中身はお選びいただけません。

秋の1日こども図書館員を募集します！

★日　時　平成23年11月5日（土）午前8:30～12:00
★場　所　聖籠町立図書館
★内　容　図書館のカウンター業務・本の返本作業など
★募集対象　町の小学5・6年生
★申し込み期間　平成23年10月8日(土)～29日(土)
★お問い合わせ
聖籠町立図書館
☎27-6166

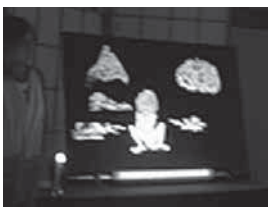
おばけがいっぱい 『夏のこわ～い…おはなし会』開催しました！

8月19日（金）。『夏のこわ～い…おはなし会』を開催しました。こわいおはなしが大好きな子どもたちとお母さん、合計23人が参加しました。会場に入るとおばけがいっぱい！子どもたちは驚きながら、恐る恐る入っていきました。

おはなしのプログラムは、「座敷わらし」「壁の中から」「くもの糸」「子育てゆうれい」「ちゅうに浮かぶかんおけ」「おばけなんてないさ」です。日本のおばけの話を中心に、こわいおはなしをたっぷり。当日は図書館ボランティア「赤いふうせん」の宮沢さん、吉田さん、小林さん、伊関さんに朗読をお願いし、協力をいただきました。「壁の中から」はやっぱりこわい…。「こわくないよ」なんて言ってる子もいたけど、ホントかな？

今回のおはなし会では、はじめてブラックライトシアターを上映し、「くもの糸」、童謡「おばけなんてないさ」に挑戦をしました。ブラックライトシアターは、ブラックライトに照らされ、おはなしに登場する絵が光ります。絵本とは一味ちがい、幻想的な世界に引き込まれます。初めて見る子どもたちも、おはなしに釘付けだったようです。こわい怪談を聞いた後は、「おばけなんてないさ」を歌ってこわい気分を吹き飛ばしました。

図書館は、今後もこのようなおはなし会の開催をし、子どもたちの読書活動によい刺激となればと思います。



編集・発行　聖籠町教育委員会　町民会館
社会教育課　☎0254-27-2121　図書館　☎0254-27-6166